

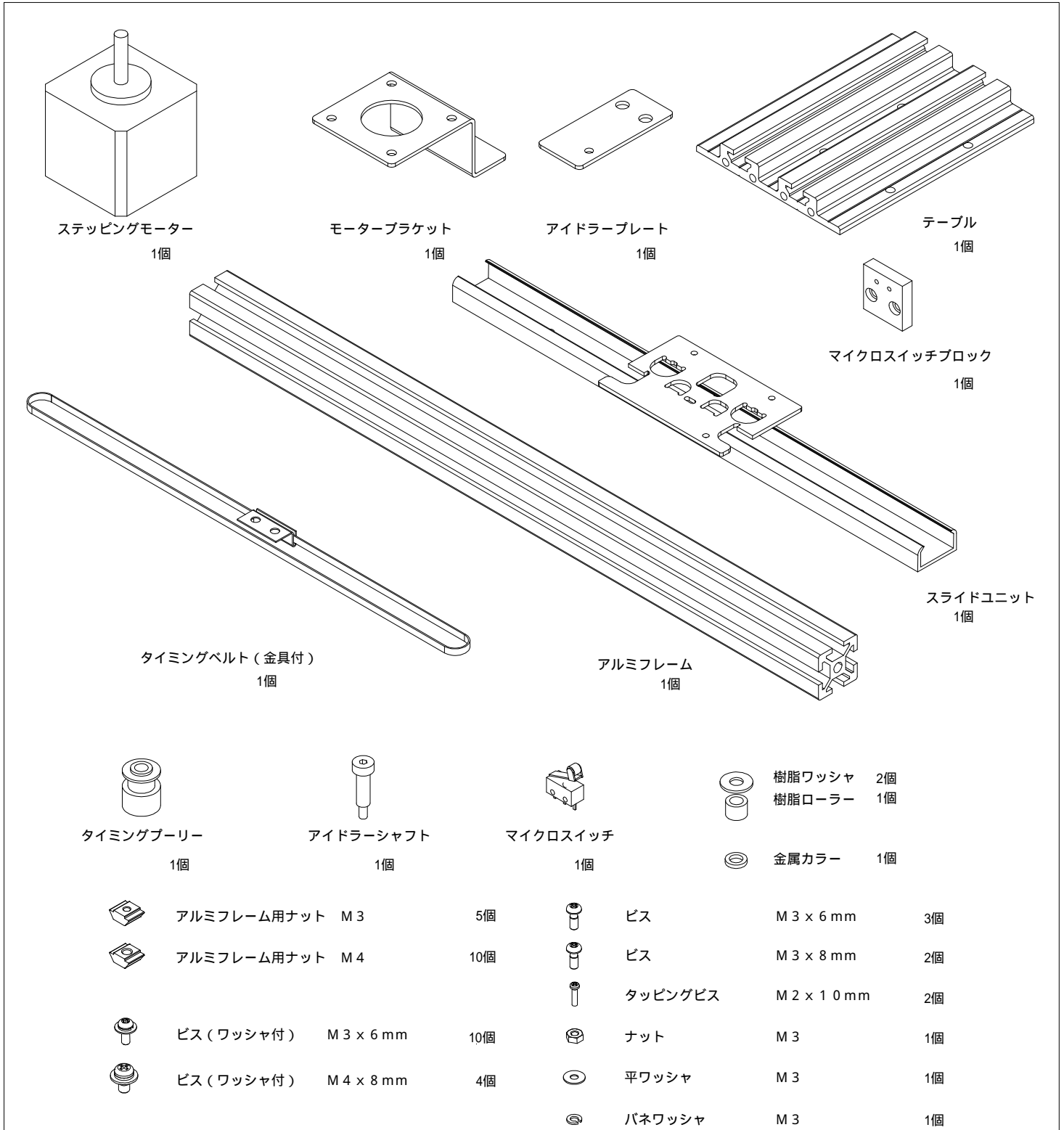
組立前にお読みください

このセットは、制御学習をされる方、自作で機器を作られる方のために1軸の駆動ユニットの部品を集めたものです。お客様の使い方に合わせて自由に改造、拡張していただくことが可能なように考えられています。以下の注意事項をお読みいただきご理解のうえご使用ください

< 注意事項 >

お使いの目的、状況に合わせて制御機器（コントローラー、モータードライバ、電源など）を別に準備していただく必要があります。駆動する部分があるため、指つめなどの事故が無いように安全カバーなども合わせて検討してください。

部品一覧



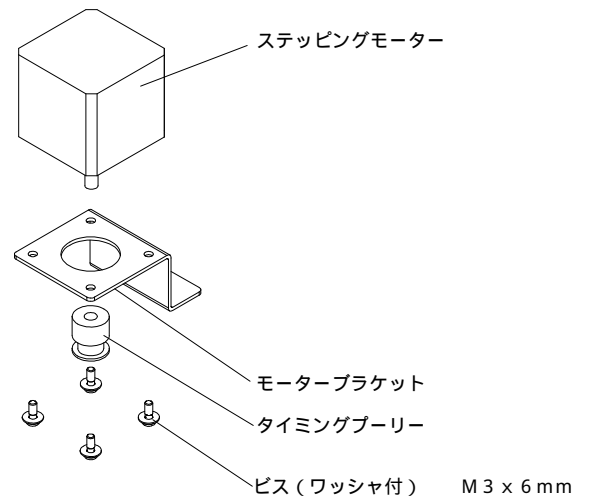
組立に必要なもの

- | | | |
|--------------|----------------|-----------------------|
| + ドライバー NO.1 | 六角棒レンチ 対辺1.5mm | 対辺5.5mmのソケットレンチ、スパナなど |
| + ドライバー NO.2 | 六角棒レンチ 対辺2.5mm | 配線に必要なハンダゴテ、線材など |

各部の組立

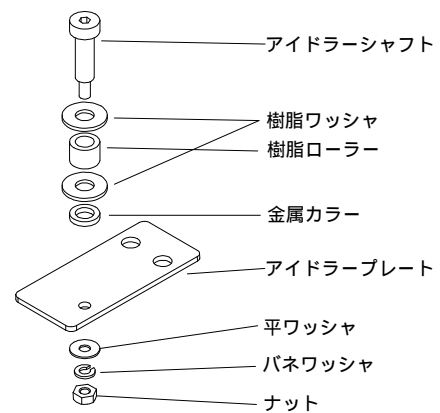
1. モーターの組立

モーターをブラケットにビスで取り付けます。
タイミングプーリー側に埋め込んであるネジを六角棒レンチでいったん緩め、モーター軸に差し込んでから、固定します。
この時、モーター軸の先端をプーリーの端面を合わせるようにします。



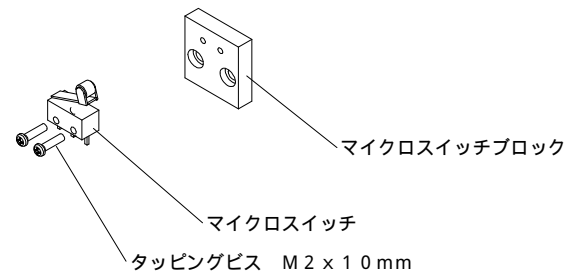
2. アイドラーの組立

右の図のように各パーツを組立ます。



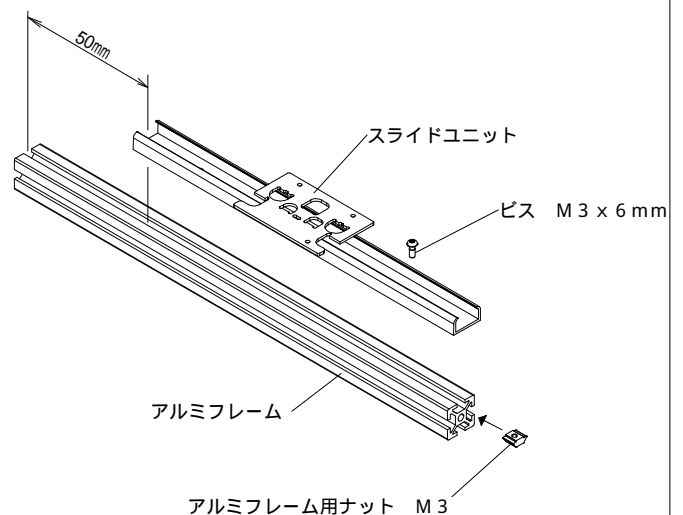
3. リミットスイッチの組立

マイクロスイッチをタッピングビスで取り付けます。



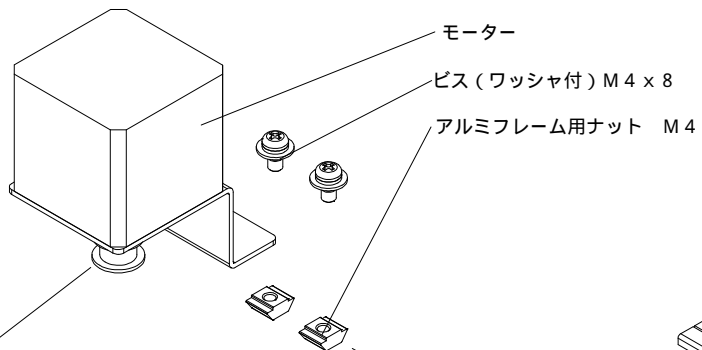
4. スライドユニットの取り付け

フレームの端から50mmあけてスライドユニットを取り付けます。
スライドユニットは、アルミフレームに専用のM3ナットを通しM3 x 6ビスで固定します。



全体組立 番号の順に組み立てます。

モーターをビス(ワッシャ付) M4 x 8 でフレームに取り付けます。



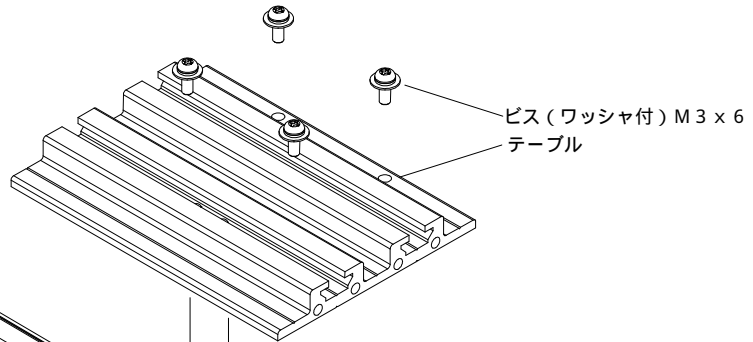
モーター

ビス(ワッシャ付) M4 x 8

アルミフレーム用ナット M4

タイミングプーリー

テーブルをビス(ワッシャ付) M3 x 6 で
スライドユニットに取り付けます。

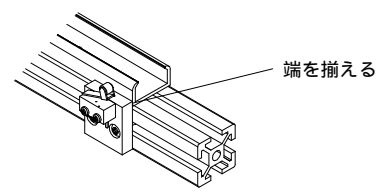


ビス(ワッシャ付) M3 x 6

テーブル

リミットスイッチをフレームに取り付けます。

図のようにレール端面とブロックを合わせると、
スイッチが入ってからストロークエンドまで3mm程度の
余裕ができます。



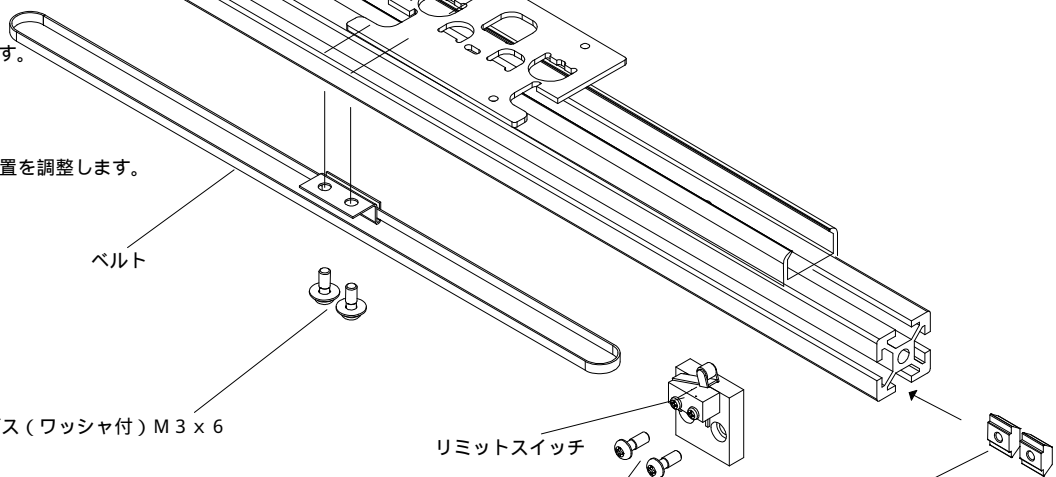
端を揃える

タイミングベルトを掛けます。

フレームの近くを通る側のベルトに金具が付くようにします。

図を見ながら金具の向きに注意して組み立ててください。

ベルトが軽く張力が掛かるようにアイドラーの取り付け位置を調整します。



ベルト

ビス(ワッシャ付) M3 x 6

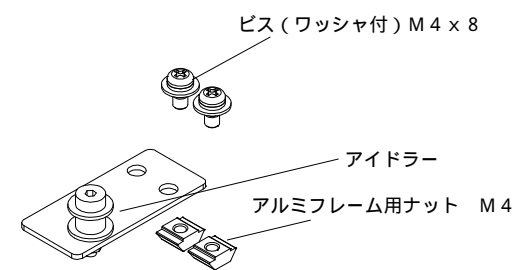
リミットスイッチ

ビス M3 x 8 mm

アルミフレーム用ナット M3

ベルトに取り付けられた金具をテーブルにビス(ワッシャ付き) M3 x 6 で取り付けます。

アイドラーをビス(ワッシャ付) M4 x 8
でフレームに仮止めします。

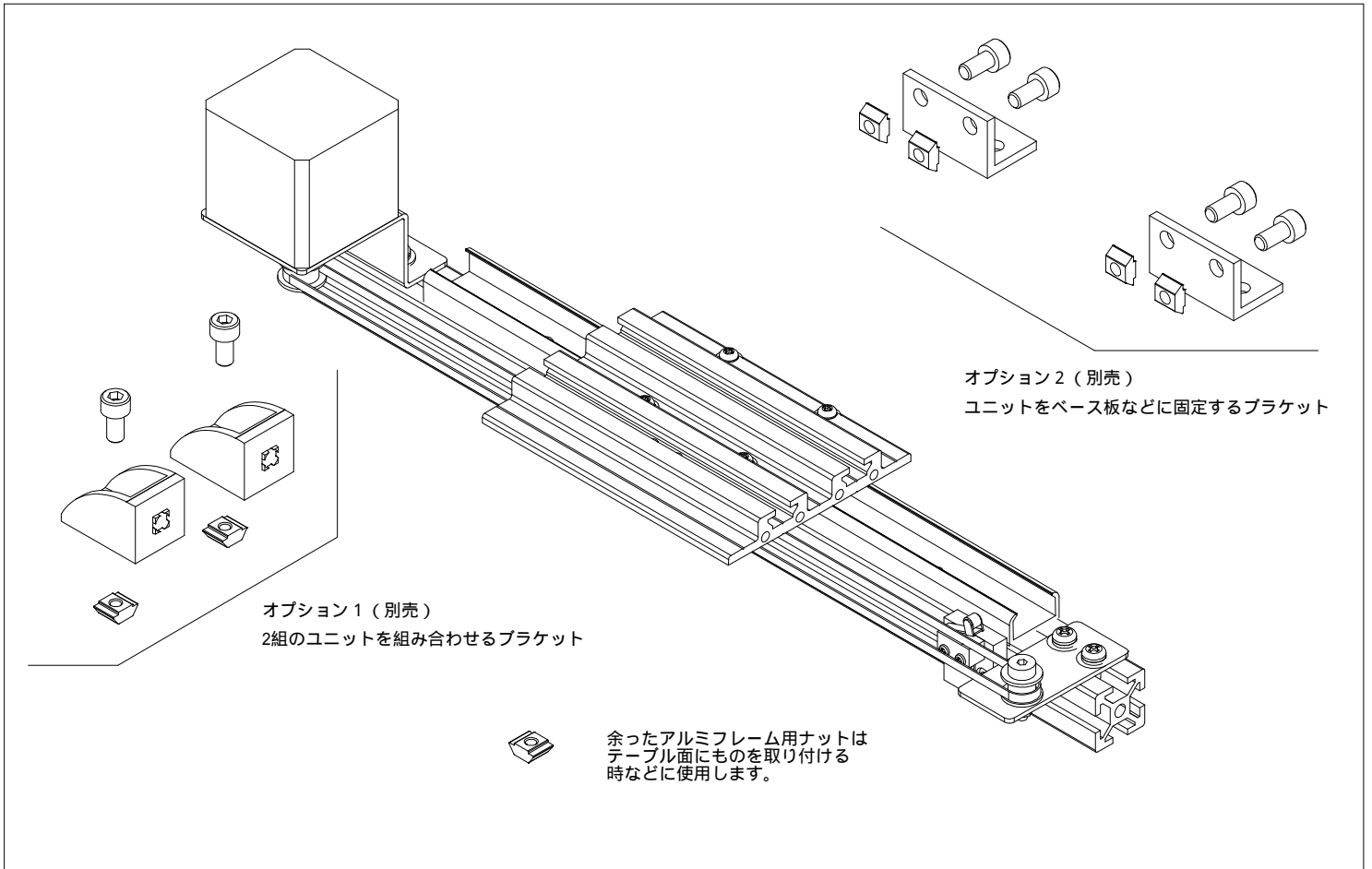


ビス(ワッシャ付) M4 x 8

アイドラー

アルミフレーム用ナット M4

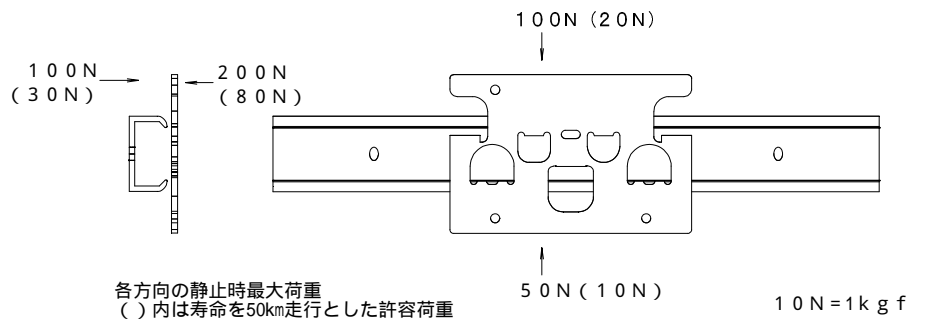
完成図



部品仕様

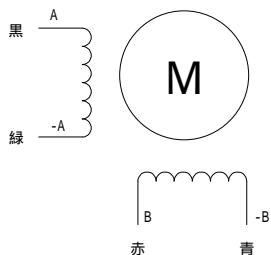
スライドユニット

ストローク	Lタイプ	164mm
ストローク	Sタイプ	84mm



ステッピングモーター

2相 バイポーラ型
基本ステップ角 1.8°
定格電圧 2.8V 定格電流 1.68A
巻線抵抗 1.65
最大静止トルク 3.3kgf-cm



マイクロスイッチ

接点容量 3A 125VAC / 2A 30VDC

